

信濃町キャンパス



3Dライブ
映像伝送

矢上キャンパス



信濃町ー矢上間通信インフラを用いた 高精細・3D・ライブによる医工連携報告会

日時：平成26年3月7日(金) 午後17時00分～午後18時15分

場所：信濃町キャンパス 第二校舎4階講堂 / 矢上キャンパス 14棟2階216教室

I. 挨拶

理工学部長 青山 藤詞郎

理工学部教授 小池 康博

医学部教授 相磯 貞和

II. 各科活動報告

1. 視線計測による3D臨床解剖映像効果の検討

救急医学教室 佐藤 幸男

2. レーザーによる短時間加熱型血管形成術の開発：

ヒト下肢狭窄血管における血管拡張性能

先端科学技術研究センター 島崎 夏美

3. 歩行シミュレーターと2方向X線透視装置を用いた

ヒト足部筋骨格構造の機能形態解析

理工学部機械工学科 荻原 直道

4. 4Kを超える超高解像度3D医療画像を用いた双方向通信のデモンストレーション

医学部解剖学教室共同研究員 高沖 英二

平成24年度の文科省の私立大学教育研究活性化設備整備事業において「高精細医学画像情報を用いた医工・医看薬連携教育設備整備」を申請し採択されました。これにより

1) 医学部解剖学教室実習室の3次元撮影システムおよび3次元画像モニター の設置とインフラ整備

2) 医学部教育研究棟講堂、新臨床講堂の高精細3Dプロジェクタシステムの設置

3) 医工連携における理工学部高精細3D画像システムの設置と医学部、理工学部間のインフラ整備が行われました。

両学部で共同研究を行っている方々に信濃町・矢上間通信インフラを利用し、各キャンパスから3D映像などを用い発表し、双方向でディスカッションを行う医工連携のお披露目報告会を開催いたします。今回の報告会を今後の活発な運用のスタートにしたいと考えています。